

令和6年度 国語科「古典基礎」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2学年 1～8組
教科書	高等学校 精選古典探究（第一学習社）	副教材等	完全マスター古典文法（第一学習社） 古典文法ワークノート（第一学習社） Key & Pointみるみる覚える古文単語300+ 敬語30（いづな書店） 新訂版最新国語便覧（浜島書店）

1 学習の到達目標

日本の古典文学を的確に理解する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。  
文学作品を鑑賞することによって心情を豊かにし、言語感覚を磨く。  
理解力の向上を図るため基礎的な文法事項に習熟し、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4 5	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り 組む態度	説話（一）	古文を読む基礎を学ぶ。 説話の面白さを味わい、古文の世界に親しむ。  中間考査	時代背景を確かめながら通読する。 場面の変化に基づいて人物の行動と心理の移り変わりを整理する。 キーワードに注目し本文を読み取る。	定期考査 小テスト レポート 発表 課題・ノート提出 学習活動への参加 姿勢や態度
6 7	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り 組む態度	故事・寓話	訓読の決まりを理解し、文章の内容を的確に読み取る。 故事成語に関する漢文を読んで、漢文の世界に親しむ。  期末考査	訓読の基本を復習し、例文の書き下しをする。 キーセンテンスに注目し、本文を読み取る。 故事成語の意味を確認し、現在の用法を理解する。	定期考査 小テスト レポート 発表 課題・ノート提出 学習活動への参加 姿勢や態度
9 10	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り 組む態度	物語（二）  随筆（二）	物語に描かれた出来事や登場人物の心情などを表現に即して読み取る。  随筆について理解する。 古文の表現の特色に注意して、内容を読み取る  中間考査	「恋愛」についての主人公の考えを的確に読み取る。 物語に使われる比喩表現や情景描写、また慣用句の使い方を理解する。  文章の主旨を読み取り、適切に現代語訳する。 随筆における作者の感性の重要性を理解する。	定期考査 小テスト レポート 発表 課題・ノート提出 学習活動への参加 姿勢や態度  定期考査 小テスト レポート 発表 課題・ノート提出 学習活動への参加 姿勢や態度

11	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	項羽と劉邦	作者の文学史上の地位について理解する。 古代中国の歴史と文学の関係を理解する。	文章の主旨を読み取り、適切に現代語訳する。 登場人物の心情を理解し、登場人物に対する作者の評価を簡潔にまとめる。 作品の概要と時代状況について理解する。	定期考査 小テスト レポート 発表 課題・ノート提出 学習活動への参加 姿勢や態度
12			期末考査		
1	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	短歌・俳句	短歌・俳句についてそれぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。	積極的に音読し、短歌・俳句のリズムを味わう。 それぞれの作品の情景や心情を的確に読み取る。 短歌・俳句の修辞技法とその効果について理解する。	定期考査 小テスト レポート 発表 課題・ノート提出 学習活動への参加 姿勢や態度
2		唐詩	唐詩の規則と表現の特色について学ぶ。	それぞれの詩に描かれた情景・状況及び詩にこめられた作者の心情について理解する。	
3			描かれた状況や心情を考えながら、 期末考査	近体詩のきまりや表現方法について理解する。	

### 3 評価の観点

知識・技能	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
思考・判断・表現	【話す・聞く能力】 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 【書く能力】 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 【読む能力】 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
主体的に学習に取り組む態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

### 4 評価の方法

知識・技能	：定期テスト 小テスト
思考・判断・表現	：定期テスト、レポート課題、発表、学習の振り返り
主体的に学習に取り組む態度	：レポート課題、発表、学習の振り返り、出席状況 ノート提出
以上の3観点に基づき、総合的に評価する。	

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

担当者からの説明や指示を聞いて、主体的に授業に参加してください。積極的かつ意欲的に取り組み、国語便覧や辞書などの副教材なども活用しましょう。古語辞典は電子辞書でも構いません。また、出版社の指定もありませんので各自で用意してください。評価については、様々な観点から行います。授業の一時間一時間を大切にしてください。また、国語力の向上には読書が不可欠です。読書習慣を身につけ、思考力を伸ばして心情を豊かにし、言語感覚を磨いていきましょう。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



